

三条通を考えるアンケート

～ 中間報告 ～

平成 23 年 6 月 11 日に三条通を考えよう会の協力の下、三条通りに面する方々を中心にアンケートを取らせて頂きました。不在、お忙しい方には 18 日までに三条通を考えよう会大森会長のポストに投函する手法をとりました。

実施期間	6 月 11 日に配布、当日回収。留置分は 18 日までに回収
総配布数	96 枚
総回収数	52 枚
総回収率	54.2%

2001 年より魅力的なみつづくりを目的として活動を行ってきました。

今回、回収させて頂いた結果から 10 年という時間の経過による街の変化、生活する人々の変化、考え方を抽出し今後の活動方針へ繋げていきます。

三条通を考えよう会主催イベント認知度

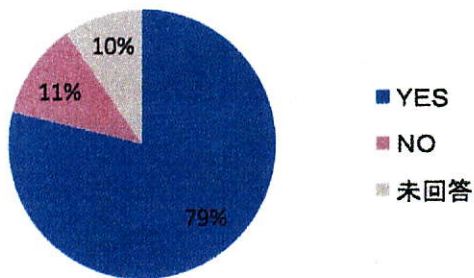


表 1 三条通におけるイベント認知度

表 1 はこれまで祇園祭における行灯づくりや人力車、三条通マップ製作など

三条通を考えよう会主催イベントの認知度が 79% という結果から 10 年間の活動実績もあり、三条通に定着した会である事が分かる。

三条通の理想像

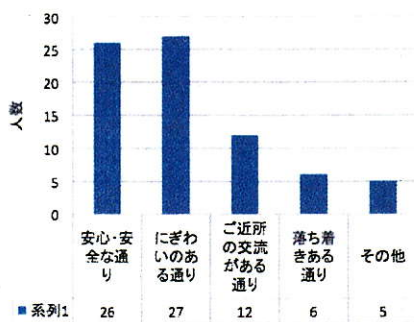


表 2 三条通がどのような通りになれば良いか 2 つ選択

表 2 では三条通においてはにぎわいを求める一方で安心・安全な通りを求める声が多い結果となっています。その他の意見として

- ◆若い人がたくさん来る通り
- ◆ぜひ訪れてみたいと考えていただけるような通り
などにぎわいを意識した意見
- ◆落ち着いた店が多くある通り
- ◆風情を損なわないもの。烏丸以西が急、つまらない道路に感じる。

といった落ち着き、風情を意識した意見がみられた。にぎわいを演出するためにも三条通の安全を確保する事が課題となっています。

道路整備について

表3は三条通において交通量の危険度について5を最も危険とし5段階で表した。4と5の危険を感じている人々は55.7%と過半数を超えている。自動車の交通だけではなく、自転車、人の交通が重なる事で、危険性が増していると感じている人もいる。

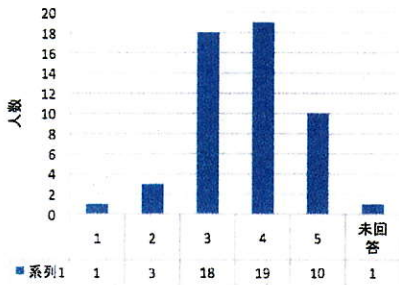


表3 三条通の交通量に対する認識

◆自転車や自動車の交通量が増え、子供の通行が心配。安全策が必要。
三条通の子供や高齢者にとっては危ない状況となっている。
交通量に対する意見や解決策として

- ◆石畳
- ◆夜間の交通量を減らしてほしい。騒がしい。
- ◆新町から東は路駐+自転車+人が重なると危ない。
- ◆スピードが出しにくい石敷

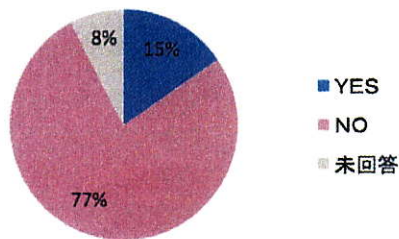


表4 現在の三条通のままで良いとおもいますか？

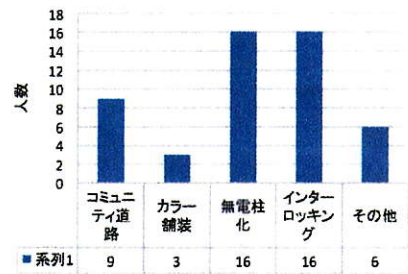


表5 改善するにはどのようにすれば良いですか。

表4は現在の三条通における満足度を表した表です。7割を超える方が現状に不満を持っています。現状の不満を改善するか問うた表5は無電柱化、インターロッキングの割合が高かった。

- ◆ずっと道路整備やって、いつているができていない。
- ◆今の界隈の退廃。着物の要素が減り地場産業の衰退。図面上商業地であるにも関わらず、住宅地に変貌してしまう危機感を覚えます。
- ◆三条通は、三条会と烏丸以东は活気があるので、間の烏丸～堀川（特に新町～堀川）が変われたらと思います。
- ◆京都に住んで10年ですが、三条通周辺の変化は感じることができます。三条商店街の発展や烏丸以东のお店の変化など。一方烏丸～堀川の間は、特にこれといったものではなく、町家を利用したお店が若干増えているが、通りそのものが住宅地の道路なままで、残念。

まとめ

全体の傾向として三条通における活動に対し興味を持っている方が多く、現在の三条通の衰退や交通の現状に危機感を持っており、どうにかしたいと考えている方もいる。現存する町家を利用し、地域の歴史を活かすことで活性化へ繋げるといった意見もみられる。前述したとおりにぎわいのまちを求めるとは安全の確保が課題となっている。